



外国人技能実習制度の“今”を伝える

iBridge

アイブリッジ通信



アイブリッジ協同組合では、新型コロナウイルス感染症への対策として、「事前に実習生・職員全員のPCR検査」を実施し、「陰性」の場合にのみ配属・訪問することを徹底しています。受入れ先の皆さまに安心していただけるよう、細心の注意と最善の努力を続けて参ります。

NEWS

東京オリンピックの状況が、連日メディアをにぎわせていますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外国人の入国制限は継続しており、技能実習生の入国も1月の緊急事態宣言発令以降いまだに停止されている状況です。

一方、技能実習生の受入れを希望される施設様からの面接のご要望は続々とよせられており、順次現地の応募者との面接をおこなっています。特にミャンマーでは、事前に日本語を学んでいる優秀な応募者もたくさん集まっています。

混迷が続いていたミャンマー情勢も、ようやく落ち着きを取り戻し、市民生活にも活気が戻ってきたところです。実習生の受入れをご検討中の施設様は、ぜひお早めに組合へご相談ください。

実習候補生との面接を引き続き実施中



技能実習生の受入れを希望する施設様と日本での実習を志す候補生との間で、今月も引き続きリモート面接をおこなっています。7月中旬に東京都の医療法人社団様と実施した面接では、20名以上の応募者が参加し、4グループに分かれておこなわれました。

ミャンマーでは、クーデターや新型コロナウイルスの影響で、当面の経済は弱含むと予想されていますが、国内の雇用環境の悪化により、海外に職を求める需要は高まっており、今回も日本語能力試験N4に合格している応募者も集まるなど、志をもった優秀な人材も多くなっているようです。

日本語学習支援プログラム

今年6月に期間限定で実施した「日本語学習支援プログラム」(日本語教育)は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などをうけ、全てオンラインでの開催となりました。

「試験に合格したい!」「職場での会話にまだ不安がある・・・」など、参加する理由はさまざま、事前に実習生の要望などをヒアリングし、「JLPT N3/N4 対策」に加えて「日常会話」「介護の会話」「技能評価試験対策」などのコースを開催いたしました。

たくさんの実習生に本プログラムにご参加いただき、真剣に日本語学習に取り組んでいる姿を見て、日々、日本語能力の向上に努めていることを改めて実感することができました。また、7月4日には JLPT(日本語能力試験)が実施され、実習生たちの中にも、N4・N3 の受験をする方が多くいらっしゃいました。受験生はもちろんですが、組合でも良い結果を聞ける事を楽しみにしています。

はじめての開催となった日本語学習支援プログラムはとてのご好評を頂き、一部では追加講習のお申込みも頂いております。当組合では引き続き日本語講習受講の要望を受けつけております。詳しくは組合の担当者までお問合せ下さい。



日本の介護人材の状況

日本の総人口(2020年9月現在)は、1億2586万人で、前年に比べ29万人減少している一方、65歳以上の高齢者は3617万人と、前年に比べ30万人増加し、総人口に占める割合は28.7%と、過去最高となりました。この割合は今後も上昇を続け、2040年には、35.3%になると見込まれています。

有効求人倍率の推移を見てみると、2020年度は、全産業平均の求人倍率が落ち込んだ一方、介護サービスは引き続き高い水準にあります。

しかしながら、年々急激な伸びを見せていた介護サービスの有効求人倍率も、2019年12月の4.8倍をピークに2021年5月には3.4倍にまで下落し、2016年頃の水準に近づいてきました。これは、主に新型コロナウイルスの影響による他産業の雇用環境の悪化により、一定数が介護職に流入したための短期的現象と考えることができます。

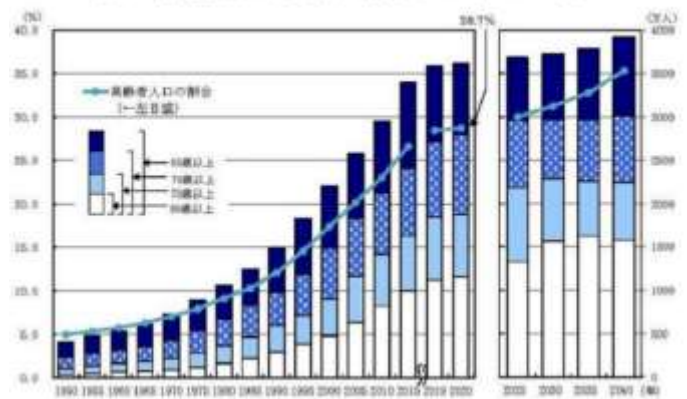
高齢化の進行に伴う介護サービスの需要増や多様化と、それに伴う事業者の増加により、介護人材の需要は、今後も増加し続けると見込まれています。現在起きている介護業界への人材流入は、業界全体の人材不足を将来にわたって解消することには至らず、今後新型コロナウイルスの影響が落ち着くにつれ、より一層介護人材の逼迫が深刻な問題になってくる可能性があります。

在留外国人の状況

出入国在留管理庁が発表している最新の統計値によると、日本に在留する外国人は右肩上がり増加し、現在290万人に達しています。また、それ以上のペースで増加しているのが技能実習生です。すでに40万人を超え、在留資格の中で2番目に多く、全体の14%を占めています。

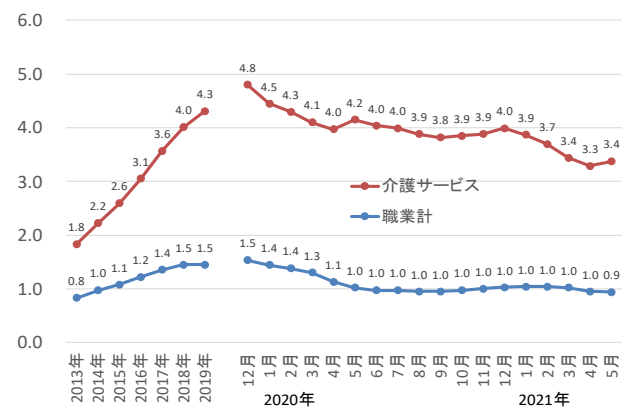
介護職に従事する外国技能実習生については、2017年11月に「技能実習」に「介護」職種が追加されて以降、2019年3月に1,823人、約2年後の2020年3月には8,967人と飛躍的な伸びを見せました。一方、特定技能「介護」は2019年4月に制度が開始されて以降、約2年後の2021年3月でも、1,705人と伸び悩んでいます。今後、技能実習2号を修了した実習生が特定技能に移行するなどにより増加していくと予想されますが、制度上受け入れ側のデメリットと受け取られる面があることも、拡大を阻害している要因のひとつとして考えられます。

図1 高齢者人口及び割合の推移(1950年~2040年)



出展:総務省統計局

有効求人倍率の推移



出展:厚生労働省



実習生紹介：WIN YATANAR TUN さん

ウィン ヤタナー トウン 国籍：ミャンマー
神奈川県 医療法人配属 2020年2月入国

日本で働きながら技術を学ぶのは、幼いころからの夢でした。現在は、この夢がほとんどかなうようになっています。

日本の好きなところは、どこでも綺麗で清潔なこと、そして、犯罪が少なく安全なことです。

仕事について一番苦労したのは、コミュニケーションですが、指導員さんや先輩たちが、やさしい日本語を使って丁寧に教えてくださったので、問題はありませんでした。

皆様のおかげで、今は仕事も慣れてきて、日本語能力試験N3も合格することができました。そして、患者さんや職員さんとのコミュニケーションもうまく取れるようになりました。

実習期間の3年間が終わったあとも、介護士として日本で働き続けるつもりです。



組合ホームページ、Facebook

アイブリッジ協同組合では、外国人技能実習制度の概要などをホームページで紹介しています。また、技能実習生同士の情報交換の場として、Facebook ページも開設し、実習生の日本でのQOL(Quality of Life)向上に取り組んでいます。アンケートなども行っていますので、実習生の積極的な参加を働きかけお願いいたします。

また、取り上げてほしい内容などがございましたら、ぜひ組合担当者へご連絡お願い致します。

公式ホームページ	Facebook ページ	Facebook ページ
アイブリッジ協同組合 (日本語)	アイブリッジ協同組合訓練センター (日本語)	ミャンマー人技能実習生の集い (ミャンマー語)
技能実習制度や組合の概要など	入国後講習や生活の様子など	実習生間の情報交換など
		
https://www.ibridge.or.jp	https://www.facebook.com/ibridge.trainingcenter	https://www.facebook.com/ibridge.or.jp



アイブリッジ協同組合

所在地：〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-8 第22中央ビル9F
TEL：03-6228-4196 FAX:03-6228-4896
URL：<https://www.ibridge.or.jp> mail：info@ibridge.or.jp



2021年7月26日発行